



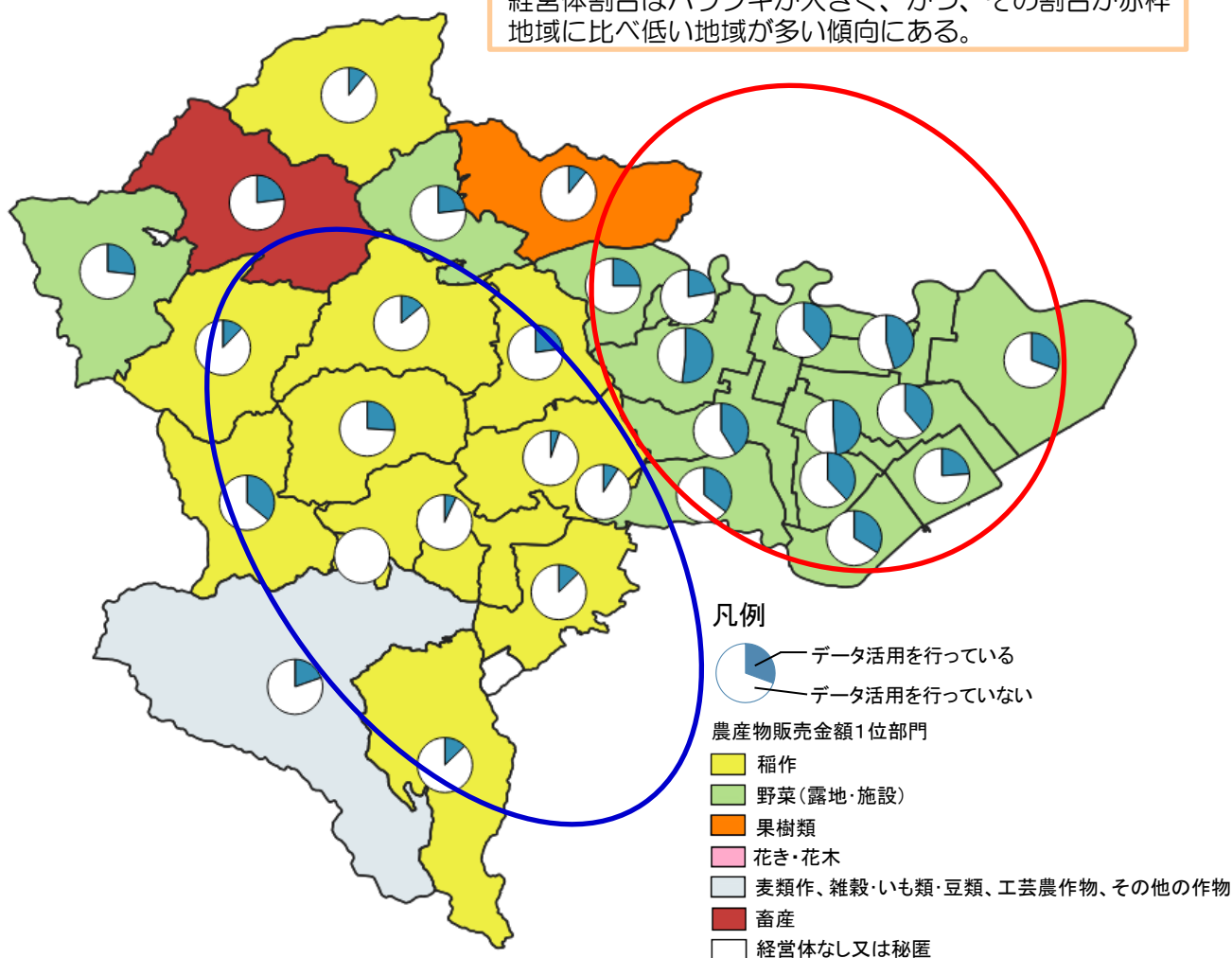
〈分析の視点等〉

○データを活用した経営体数割合と農産物販売金額1位部門との関係を見る

地域別にデータを活用した農業経営体数割合と最も経営体数が多い農産物販売金額1位部門とを重ねることで、主要営農部門とデータを活用した農業経営との関係を明らかにする。

分析事例

農産物販売金額1位部門について、地域別に経営体数が最も多い部門をみると、野菜が多い赤枠の地域では、データを活用した農業経営に取り組む経営体の割合が、相対的に高い傾向にある。
一方で、稲作が多い青枠の地域では、データを活用した経営体割合はバラツキが大きく、かつ、その割合が赤枠地域に比べ低い地域が多い傾向にある。



使用したデータ

- データを活用した農業を行っている経営体数（2020年）
- 農産物販売金額1位の部門別経営体数（2020年）
- 旧市区町村境界

※ここでは旧市区町村境界範囲を地域別とした。

（計算方法）
 データを活用した経営体数割合 = 「データを活用した農業を行っている_小計」 / 「農業経営体数」
 農産物販売金額1位部門 = 凡例部門で農業経営体数が最も多い部門